

POINT

# 3つの町政運営の基本方針

## だれしもが<sup>しあわせ</sup>幸福に生きる町に ～オランダを合せ鏡として

ホストタウンとなり交流を進めているオランダの子どもたちの幸福度は世界一。オランダ社会を合せ鏡のように日本社会を照らしてみても、どのようなものが見えてくるのか、私たちが幸福に生きることができるよう参考にすべきではないでしょうか。「幸福」

をキーワードに、住民一人ひとりの幸福の実現のためのまちづくりを進めていきます。



## 橋をかける ～献身と真心が幸福への入り口

幸福な町とは、人と人、人と物が互いに橋をかけあい、つながりが多く、強くなっている町のことでないでしょうか。学校、職場、地域で人々が幾重にも、過去へも未来へも繋がっています。橋は幸福の架け橋であり、まちづくりは「橋をかける」ことと言

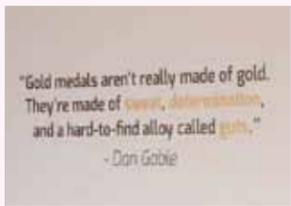
換えられます。真心をもって橋をかけるまちづくりを推進していきます。



## 新たな生き方の創造 ～平凡なことをやり続けること

まちづくりは先人たちが創り上げた魅力と活力ある三芳町を未来への夢や希望と融合させ、**生き方の創造**を探求することです。それは特別な非日常的な世界のことでなく、日々の生活の中で本気で取り組むことをやり続けた先に新生します。平凡な自明のこと

を未来に向かってやり続けることが未来の三芳町を切り開きます。



↑2/16(出)に行われた子ども議会。子どもは地域で守るべき存在であると同時に、まちづくりの主体者の一員でもあります。

**まちづくりのキーワード**  
いつの時代でもまちづくりをしていくのは「人」であり、多くの人と対話を重ね、多くの人が主体者となつてまちづくりに参画することが望まれます。そして、これまでの130年の歩みを振り返ると、まちづくりには「愛」と「信頼」が欠かせないことに気づきます。

**愛は未来への羅針盤**  
愛とは、赤ちゃんからお年寄りまで一人ひとりの輝く命を愛すること。さらに、先人たちが残してくれた歴史、文化、伝統、自然をも愛することです。  
大切なのは、今だけでなく、未来の子どもたちに責任を持つこと。愛は責任を伴い、責任は未来への確かなビジョンを導き出し、具体的な政策を生み出します。愛は未来への羅針盤です。

**信頼は未来を切り開くエネルギー**  
社会は人と人との絆によって繋がっています。絆は信頼に基づき、信頼による絆は力を生み出します。真の信頼に成長するには、目的に向かって共に汗をかくことが求められます。時には葛藤や涙を伴い、それを乗り越えたとき、信頼は大きく成長し、人と人とを強く結びつけ、困難を乗り越える、未来を切り開くエネルギーになるのです。

# 130年の歴史を未来へつなぐ

## 愛と信頼 ～平成31年度施政方針～

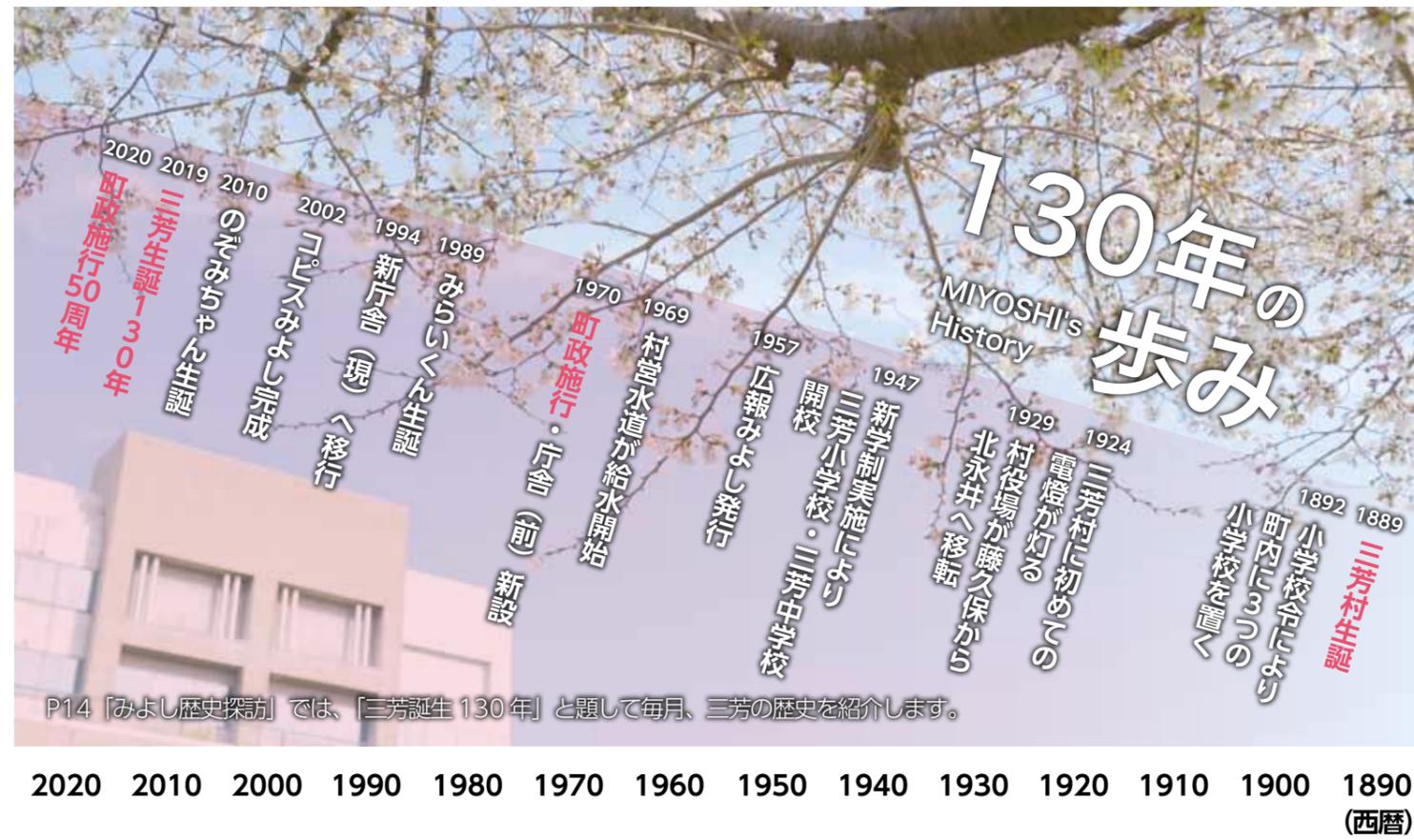
2019年4月1日、三芳は生誕130年を迎えます。歴史を未来につなぐためにできること。2月27日に発表された施政方針のなかから、まちの進む未来を紹介します。



↑三芳町には先人たちが残した豊かな自然をはじめ、貴重な財産が残されています。

**明**  
治22(1889)年4月1日、今から130年前に市制・町村制が施行されました。竹間沢村、藤久保村、北永井村、上富村の4村が合併し、三芳村が誕生。以降、どこの自治体とも合併することなく歴史を築いてきました。今日まで残されてきた歴史

を大切に受け止め、次の世代につないでいくためにできることは何なのでしょう。  
**まちの進む未来**  
生誕130年に新元号、2020年度には町政施行50周年を迎える三芳町。ここで歴史は新たな時代に突入しようとしています。しかし、重要なのは時代を「迎える」ことでは



P14「みよし歴史探訪」では、「三芳誕生130年」と題して毎月、三芳の歴史を紹介します。